

鈴をつけたらノリノリに ～リズム遊び、リズムダンスの教具の工夫～

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

小学校学習指導要領解説体育編の記述

- ・低学年の「リズム遊び」では

軽快なリズムに乗って踊るとは、スキップで弾んで踊れる軽快なリズムの曲を取り上げ、**へそ（体幹部）**を中心にリズムに乗って踊ったり、友達と調子を合わせて即興的に踊ったりすること。

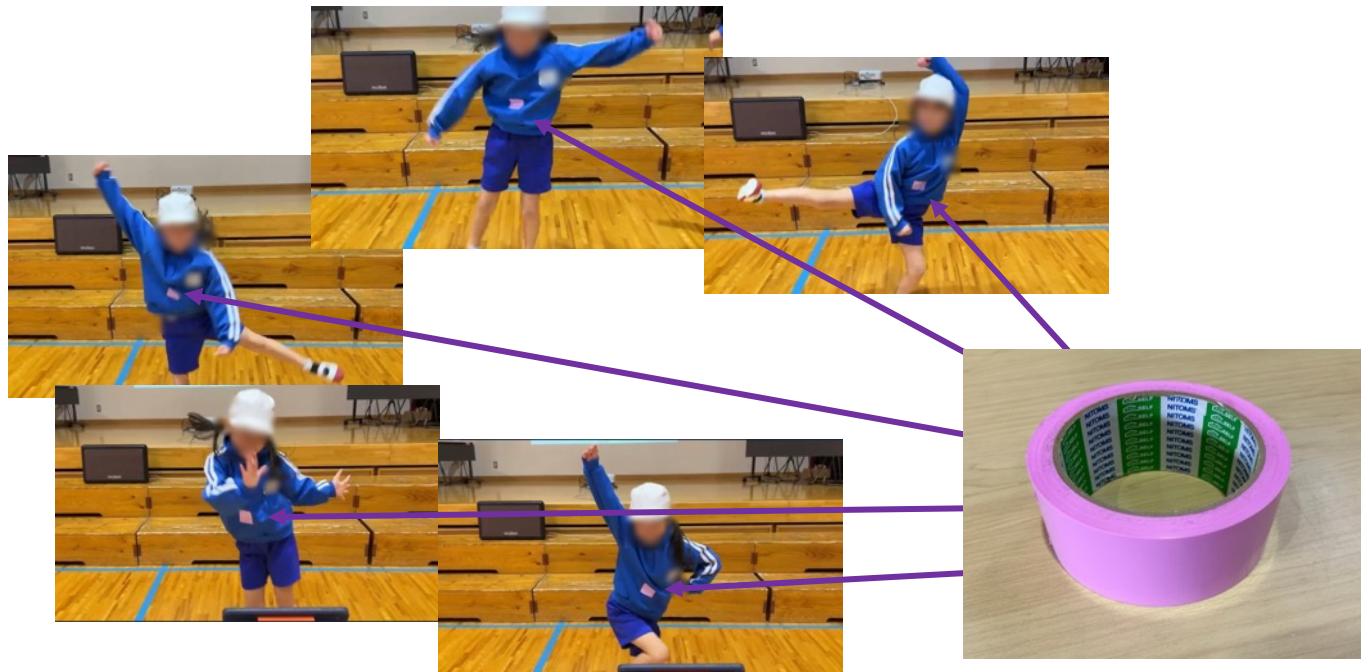
- ・中学年の「リズムダンス」では

軽快なリズムに乗って全身で踊るとは、スキップで弾んで踊れる軽快なリズムの曲を取り上げ、ロックの後打ちやサンバのシンコペーション（拍子の強弱を逆転させたり変化させたりしたリズム）などのリズムの特徴を捉え、**へそ（体幹部）**を中心に、リズムに乗って全身で弾んで踊ったり、動きに変化を付けて踊ったり、友達と関わり合って踊ったりすること。

「へそ」はダンスのキーワード

これまでの「へそ（体幹部）」を意識した実践

へそにピンクのマスキングテープを貼り、その動きを大きくするよう意識させました。さらに動画を撮影し、友達同士で見合ったり、動きについてフィードバックをし合ったりしました。



『ジャンボリミッキー』をノリノリに踊る子どもの様子

このような実践も私自身は気に入っていますが、踊りの出来栄え自分で判断するのは難しいと感じています。

さらに、踊る楽しさを実感できるような即時のフィードバック方法はないだろうかと考えていたところ

8月の体育授業研究会（熊本大会）に参加した際に、香川大学の大西美輪先生から、「タグラグビーのベルトやタオル、鈴を使うことで子どもたちがより積極的に踊る」というヒントを幸いいただきました。

そこでまず、2学期が始まり試してみました。



鈴による聴覚刺激は即座に効果があり、子どもたちは一気に踊りが盛り上がりしました。さらに手首や足首にも鈴を付けられるようにすると、より楽しそうに動き始めました。



ウエストのベルトに直接つ
けている子もいました。



踊った分だけ鈴が鳴る
聴覚によるフィードバックは効果的

鈴の優しい音色が
笑顔をいっぱい広げてくれました

<個人的なことになりますが、遠隔授業にチャレンジ中>

現在、私は大分県教育委員会の事業として、勤務先の高瀬小学校から国東市の姫島小学校の2・3年生に向け、遠隔授業の形でリズム遊びやリズムダンスの授業を行っています。

高瀬小学校での実践をもとに、遠隔授業でも子どもたちに鈴をつけて踊ってもらったところ、ここでも効果を実感できました。

ほんの小さな工夫かもしれません、「体育って楽しいな」「踊るって楽しいな」と子どもたちに感じてもらえたなら嬉しく思います。

